

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>1 番 村野由紀子</p>	<p>1 箱根町のトイレについて</p> <p>2 災害に強いまちづくりについて</p>	<p>現在、町内には39カ所公衆便所があり、町が28施設、県が10施設、国が1施設を管理しています。</p> <p>最近の商業施設や鉄道の駅、サービスエリアなどの公共的なトイレの姿は従来の用を足すというイメージから、高齢者や障がい者、親子連れなどにも配慮された、清潔で快適なトイレに改善されてきております。トイレは誰もが使う場所であり、常に清潔で快適に利用したい場所です。</p> <p>①平成23年から改修計画を策定し順次工事をされていますが、現状と管理、清掃状況などお伺いします。</p> <p>②災害時の備えとして大切なのは、「水とトイレ」の確保です。トイレの備えについて、現在の町の状況と公園などにマンホールを掘って、上に簡単なトイレを設置するマンホールトイレの整備について、近隣の状況と町の考えをお伺いします。</p> <p>①今年の台風10号が東北地方に近づいていた8月30日、グループホーム「らんらん」のある岩泉町で高齢者9人が犠牲になりました。「避難準備情報」の意味が理解されず、避難が後手に回り、町もより強い「避難勧告」を出していませんでした。避難計画や訓練の具体的内容は、事業者任せにしているということでした。箱根町の高齢者施設やグループホームなどの事業者との連携や避難マニュアルの策定、訓練の実施など、どのような実態かお伺いします。</p> <p>②今年の4月、熊本地震では、震度7の地震に2度襲われました。益城町では、4月17日避難所に身を寄せた1万6050人のうち1万2</p>

		<p>50人は、敷地内で車中泊をしました。エコノミークラス症候群は避難所でも起こりますが、長く同じ姿勢でいる車中泊では、リスクが高まります。また、避難所にプライバシー等がない、という方も車中泊をしていたそうです。車中泊対策、エコノミー症候群の予防など、どのように対策を考えているのかお伺いいたします。</p> <p>③先日の11月24日、関東甲信地方で広い範囲で雪が降り、11月の初雪は、県西部では極めて珍しい現象で、箱根全山で積雪10センチ以上も観測しました。積雪の影響で町内はスベリ止めが必要となり、バスなどは午前中から運休、登山電車も倒木があり、湯本駅と強羅駅間で運転見合わせとなりました。町内では、積雪に伴う倒木被害や事故が多数発生し、混乱が生じました。2年前の平成26年の2月は2週続けて記録的な大雪となり、特に仙石原では積雪110センチの大雪で、主要幹線道路は大型車両の通行が出来ないところもありました。町民の方からも苦情、新聞には観光産業死活問題とも載っていました。このように2年前の大雪や1月の初雪など想定外に備えた対策が求められています。季節外れの積雪による町の混乱と対応についてお伺いします。</p>
--	--	--